

## 北王農林株式会社（中川郡幕別町）

- 基礎情報【経営面積】60haの農地で畑作4品や路地野菜、ハウス野菜(50棟)を栽培  
 【経営形態】農作物の栽培、農産物加工品販売、農産物直売所を運営  
 【従業員】社員：9名、パートタイマー：3名



<問合せ先> 北王農林(株) 藤原 ☎ 0155-56-2555

### 1 農福連携に取り組んだ経緯

令和2年1月、「まくべつ就労促進かふえ（幕別町自立支援協議会主催）」に現常務取締役が参加した際に、町内における福祉の現状とともに農福連携の取組を知り、「障がい者に担ってもらえる作業があるのではないかと模索を開始した。

同年4月、コロナ禍により増加したジャガイモの在庫対応の相談が市場関係者から同常務に寄せられ、同社と取引があるスーパーに相談を持ちかけた。スーパーからは、「800gの袋入りであれば小売が可能」との返答を得たが、アスパラガスの収穫・出荷時期と重なり、同社単独での対応は困難な状況にあった。

短期間で商品を納入するためには、人手を要することから、就労継続支援事業所の運営会社や町の関係部局に相談したところ、新たな就労先確保の動きがあった就労継続支援事業所の(株)十勝あすなる会を紹介され、同会に袋詰め作業を依頼したことで農福連携の取組が実現した。



とうもろこしの皮むき作業の様子

### 2 取組内容

- (1) 就労形態：事業所との作業委託契約に基づき、通年での施設外就労を受入れ。
- (2) 就労時間：利用者は、月曜日から金曜日までの午前中に2～3時間程度の作業に従事。
- (3) 工賃：作業内容ごとに工賃単価を設定。
- (4) 送迎：作業場所（施設やほ場）までの送迎は、事業所が担当。

### 3 取組の特徴

- (1) 4月のアスパラガス収穫作業の委託から始まり、9月頃までハウスやほ場の草取り、とうもろこしの収穫・皮むきなど、野菜用ハウスやほ場での作業委託が続く。10月から3月頃までは、野菜の袋詰め作業を委託することで、通年での利用者就労が実現している。
- (2) 施設外就労における利用者の労務管理と作業内容の指導は、同社職員から説明を受けた事業所職員が担当している。作業を請け負った事業所では、作業内容からA型事業所とB型事業所に通所する利用者の特性に合わせた人員を配置し、就労させている。
- (3) 野菜の袋詰めやアスパラガスの収穫など、計量・計測が必要な作業を委託するに当たり、秤（はかり）やはさみに目印を付すなど、利用者が安心して確実に作業が進められるように工夫を重ねている。



収穫目安の赤い目印が付けられたアスパラガス収穫用のはさみ

### 4 障がい者就労への考え方

- (1) 同社にとって事業所は、労働力確保の面で重要なカウンターパートになっている。特に、利用者の労務管理を事業所側が担うことで、農作業の繁忙期にあっても、同社職員が労務管理以外の作業に集中することが可能になり、新商品の開発（茹でとうもろこしのレトルト商品化）が実現している。
- (2) 事業所と作業委託契約を結ぶに当たり、互いに納得できる工賃設定に難しさを感じるが、同契約によって経理作業が簡便化されたことを実感している。



商品化された 茹でとうもろこし

### 5 今後の予定や将来展望

- (1) ノウフクJASの取得を検討している。
- (2) 農福連携の現場視察を受け入れるなど、横展開を図ることで社会的な関心を高めるとともに、消費者に対しても農福連携の認知度向上を図ることで、農福連携商品の販路拡大を進めていきたいと考えている。